



「欲張らない投資」のススメ

「低リスク」なら 買い時に悩まない!?

「低リスク」に
中長期でお付き合いすると、いいことがあるかも…。

□ 「短期勝負」はタイミングが難しい!

投資を考えると、「なるべく損をしないで、短期で大きく儲けたい」と思いがちかもしれません。

しかし、そのような短期勝負は大変難しいものです。大きく儲けるためには「なるべく安いところで買って、なるべく高いところで売る」のがベストですが、短期勝負で**売買のタイミングをピタリとあてるのは、とても難しいこと**です。

□ 低リスク×長期投資のメリットとは

そこで考えたいのが、「低リスク・低リターン」の運用商品を中長期で保有して、じわりと増やしていく方法。

「低リスク」の商品なら、高リスクのものとは比べて値動きが抑えられるため、急落時に怖くなって売却に走る「狼狽売り」など**心理的な判断ミスもしにくい**といえます。

例に挙げた「ピクテのバランス運用」（右グラフ参照）は、まさに低リスク・低リターン。1年という短期保有の場合、購入タイミングによってはマイナスとなりましたが、2年保有すれば「どのタイミングで買って**もプラス**」となりました。

つまり、**低リスク・低リターンの商品を中長期で保有した場合、「買い時のタイミングを選ばなかった」といえます。タイミングを悩まずにスタートし、その代わり少なくとも数年以上の保有でゆっくり増やしていく**という考え方がポイントです。

○「ピクテのバランス運用」の保有期間別収益率○



※投資開始日から1年間・2年間保有した場合の収益率の推移
※ピクテのバランス運用（一例）：実際の基準価額（分配金再投資後）、基準価額は実質的な信託報酬等控除後。基準価額（分配金再投資後）は購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の実績であり、**将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。**

今回のポイント

- **売買のタイミングをピタリとあてるのは、難しい。ならば、タイミングを選ばない「低リスク」商品を中長期で持ってじわりと増やしていきませんか？**

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。